



◀写真 K-038
じぞう
地蔵ケヤキ

高源寺が火災に遭った時、類焼して大きな空洞ができた。その洞内に子育て地蔵が祀られている。



写真 K-039▶

はらまち
原町の大ケヤキ

1989年の台風で、6本の太枝の内、最後まで残っていた2本の1本が折れ、瀕死の状態になった。上は昭和初期の元気な頃の写真(Web画像より)。



▼写真 K-040
やしる おおけやき
八代の大櫨

足鹿神社境内に立つ。主幹は太いが、6mで3分岐し、2本切断され、一本の幹が斜上する樹形に変化している。国指定時の壮大な樹形はなくなった。



▲写真 K-041

ほんどうじょうし
本堂城址のケヤキ

広大な城跡の片隅に立つ。主幹にある巨大な蕈人形は鐘馗様(しょうきさま)という。4mで2分岐、分岐幹上部の一本が破損している他は健在だ。

写真 K-042▶

だいぶつ
大仏のケヤキ

境内中央に立つ見事な巨木。社殿の裏には「大仏境内のケヤキ」がある。





▲写真 K-043
親都神社の大ケヤキ

神社境内の道路脇に立ち、主幹上部は切断されている。



▲写真 K-046
棚倉城址の大ケヤキ

追手門から本丸に至る道筋に立ち、5mで2分岐する樹形。主幹には大きなコブが多数できて、異様な雰囲気がある。(写真・Web画像)



▲写真 K-044
一里塚のケヤキ

旧道沿いの一里塚に立つ大ケヤキ。根元が広がる樹形。(写真・Web画像)



▲写真 K-047
川田神社の大ケヤキ

主幹の空洞化が進んで、衰弱しつつある。



▲写真 K-045
栖吉の大榲

根元で大きく膨らんだ樹形で、幹周値が大きくなる。4mで2分岐する。



▲写真 K-048
弥彦の蛸榲

大蛸が八本足を広げた姿に似る事による。しかし、南西側の3本は切断され、現在は地上2mで5本の幹に分岐する。地元の守護神として信仰を集めている。



写真 K-050▶
駒つなぎのケヤキ

今宮神社に参詣する人が馬をつないだ事による。樹冠は4mで破損している。(写真・石田徹)

◀写真 K-049
文下のケヤキ

民家敷地内にある八坂神社裏に立ち、地上5mで3分岐し、主幹は少し傾く。まだ若々しいケヤキ。



▲写真 K-051

とが 砥鹿神社のケヤキ

境内外側の斜面下に立つ。分岐幹だが、合体木の可能性もある。(写真・Web画像)



▲写真 K-053

おうじょう 王城のケヤキ

6mで主幹と6分岐幹に分岐している。平城である大井城のシンボル。

◀写真 K-052

しんでんほんじん 新田本陣の大ケヤキ

本陣の庭の奥、鬱蒼とした樹木の中に立つ見事な単幹ケヤキである。敷地内にはクワの巨木もある。



▼写真 K-055

ざるくい 猿喰のケヤキ

猿喰は小字名で、小公園として整備された一角に立つ巨大なケヤキ。幹周9.02mとされるが、M式では巨岩の上に根上状になると判断して、株周表記にした。



▲写真 K-054

おおくぼ 大久保の大ケヤキ

日枝神社境内に立ち、落雷による空洞が見られる。(写真・谷田元彦)

◀写真 K-056

こぶたのみや 小蓋宮の大ケヤキ

市街地にある小蓋宮の境内に立つ。根元が広がる樹形で、幹周値がおおきくなった。(写真・Web画像)





▲写真 K-057
よしえけ
吉江家のケヤキ

吉江家の敷地内に立つ大ケヤキ。主幹は二本立ち上がり、融合木の可能性がある。向かって右幹は3m、左幹は4mで大枝を斜上する樹形。

▼写真 K-059
ほりのうち
堀の内のケヤキ

見事な単幹ケヤキで、8mで2分岐し、根張りが大きく安定感がある。



◀写真 K-058
すいじんさま おおけやき
水神様の大櫨

一段低くなった水屋の背後に立つ御神木。大沢の大ケヤキとも呼ばれる。(写真・Web画像)

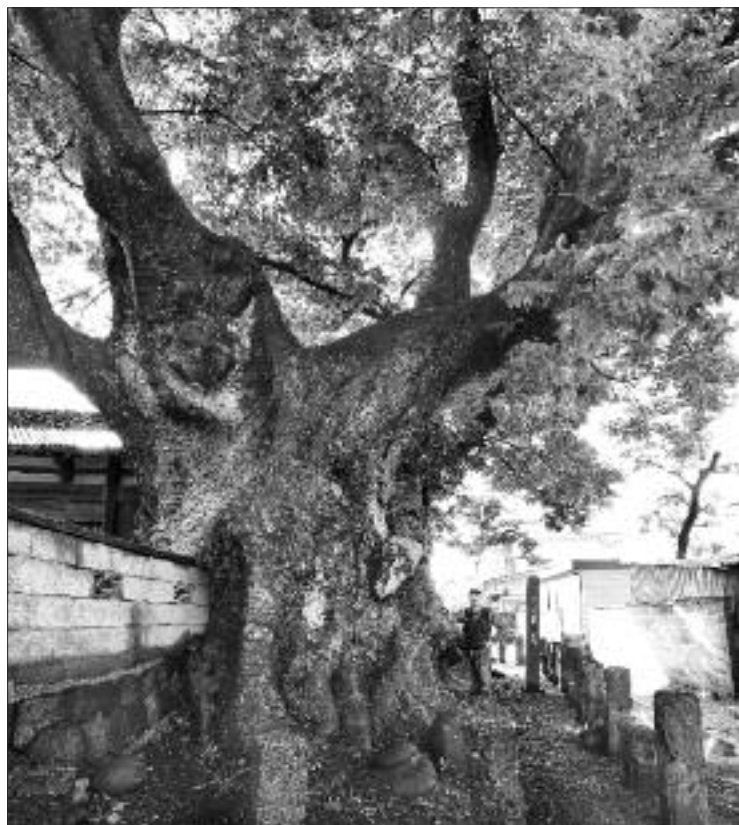


写真 K-060▶
こしょうじ
古正寺のケヤキ

諏訪神社境内にあり、子供達が自由に登れる環境にある珍しい大ケヤキである。

▼写真 K-061
てんじんぐう
天神宮のケヤキ

社殿を囲むブロック塀をまたいで立つケヤキの怪樹。塀は後で設置されたもので、背後の主幹は空洞化している。





▲写真 K-062
やまでら
山寺のケヤキ

幾多の災難により、皮一枚で生き長らえている。



▲写真 K-063
おしい
押井のケヤキ

巨岩に刻まれた磨崖仏に根を張る大ケヤキ。



▲写真 K-064
おんないもりぎ
女飯盛木

多賀大社の御神木で、もともと地上1~2mで5分岐する樹形であった。



▲写真 K-065
あんごじ
安居寺の大ケヤキ

境内、石段の右手に立ち、根元近くで2分岐、さらに2分岐する樹形。樹勢は弱っている。



▲写真 K-066
つきよみ
月夜見のサクラ

サクラとあるがケヤキ。複雑な主幹をしている。(写真・石田徹)



▲写真 K-067
しもぎょうじゃ
下の行者の大ケヤキ

株立ちのケヤキ (写真・石田徹)



▲写真 K-068
いけじんじゃ
頤気神社のケヤキ

1.6mで2分岐する樹形。二本の融合木の可能性がある。



▲写真 K-069
あいのくら みょうと
相倉の夫婦けやき

集落裏手の山の巨岩の上に2本のケヤキが寄添うように立つ。



▲写真 K-070
いずはやお
出早雄神社のケヤキ

根元広がる樹形で、8mで主幹が切断されている。



▲写真 K-071
いちのや
倒木・一ノ矢の大ケヤキ

八坂神社境内にあったが、1995年に枯死し、残った古木は2012年に倒壊した。(写真・Web画像)



▲写真 K-072
とりで
倒木・鳥出神社のケヤキ

神社の御神木で、見事な単幹樹であった。(写真・Web画像)



▲写真 K-073
ろくどうはら いっぼんけやき
枯死・六道原の一本櫨

石仏が見守る広場にあるが、枯死した主幹のみが残っている。

■幹周 7～9m で B 評価のケヤキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	菅並のケヤキ(火の宮のケヤキ) 写真 K-074	M8.85m(1.3m 2008)	25m	滋賀県長浜市余呉町菅並字白谷口	なし
B	八幡神社のケヤキ(野神のケヤキ) 写真 K-075	M8.92m(1.3m 2008)	15m	滋賀県長浜市高月町柏原字北町	なし
B	湯福神社のケヤキ(B株) 写真 K-076	M8.2m(1.3m 2015)	21m	長野県長野市箱清水3丁目	市指定
B	下戸鎖のケヤキ(山根のケヤキ) 写真 K-077	8.75m	33m	岩手県久慈市山根町字下戸鎖	市指定
B	先ノ宮神社のケヤキ 写真 K-078	M8.6m(1.3m 2015)	36m	長野県諏訪市大和3丁目	市指定
B	村主の大樺 写真 K-079	8.68m	27m	群馬県利根郡みなかみ町上津字村主 村主八幡神社	県指定
B	稲田諏訪神社の大ケヤキ 写真 K-080	M8.11m(1.3m 2015)	35m	新潟県上越市稲田1丁目	市指定
B	羽黒神社のケヤキ 写真 K-081	8.0m	20m	新潟県長岡市小貫	市指定
B	文武館跡のケヤキ 写真 K-082	M8.97m(1.3m 2015)	23m	茨城県久慈郡大子町大子	県指定
B	中村神明宮大樺 写真 K-083	M8.0m(1.3m 2015)	20m	長野県東筑摩郡筑北村坂北	市指定
B	神明宮の大ケヤキ 写真 K-084	M8.25m(1.3m 2015)	33m	石川県金沢市野町2丁目	市指定
B	飯川神社のケヤキ 写真 K-085	M8.1m(1.3m 2015)	27m	石川県七尾市飯川町	市指定
B	天皇子神社のケヤキ 写真 K-086	M8.2m(1.3m 2015)	16m	長野県千曲市寂蒔	なし
B	吹張の大樺木 写真 K-087	株周 22.8m	22m	秋田県湯沢市愛宕町2丁目246	県指定
B	診療所のケヤキ 写真 K-088	M7.69m(1.3m 2014)	25m	長野県飯山市一山字温井	なし
B	初山八幡宮の大ケヤキ 写真 K-089	M8.95m(上部 1.3m 2007)	20m	大分県竹田市直入町長湯 6731	
B	一宮神社のケヤキ 写真 K-090	M8.09m(1.3m 2015)	25m	兵庫県豊岡市但東町久畑	県指定
B	中根寺のケヤキ 写真 K-091	M7.34m(1.3m 2015)	18m	茨城県水戸市加倉井町	なし
B	御射山神戸の一里塚のケヤキ 写真 K-092	M8.05m(1.3m 2015)	25m	長野県諏訪郡富士見町富士見御射山神戸	なし
B	下妻神社の大ケヤキ 写真 K-093	8.4m	30m	茨城県下妻市下妻乙下妻神社	
B	白鳥神社のケヤキ(縄文ケヤキ) 写真 K-094	8.0m	40m	宮城県柴田郡村田町七下路2	町指定
B	須賀神社の大ケヤキ 写真 K-095	M8.82m(1.3m 2015)	25m	群馬県沼田市中町	県指定
B	中地大仏境内のケヤキ 写真 K-096	8.0m	21m	福島県郡山市湖南町中野字堰内	市指定
B	鹿島御子神社の大ケヤキ 写真 K-097	8.0m	46m	福島県南相馬市鹿島区鹿島字町	市指定

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	上野原の大ケヤキ 写真 K-098	8.6m	28m	山梨県上野原市上野原	国指定
B	浜沢の大ケヤキ 写真 K-099	M8.15m(1.3m 2008)	19.5m	山梨県上野原市秋山浜沢	村指定
B	延応寺のケヤキ 写真 K-100	M8.42m(1.3m 2015)	30m	兵庫県朝来市生野町口銀谷	県指定
B	今田水神の大ケヤキ 写真 K-101	8.6m	21m	島根県江津市桜江町今田	県指定
B	上徳次郎のケヤキ 写真 K-102	8.56m	30m	栃木県宇都宮市徳次郎町 個人宅	市指定
B	清河寺の大ケヤキ 写真 K-103	8.8m	23m	埼玉県さいたま市西区清河寺	県指定
B	中山神社の祝木のケヤキ 写真 K-104	8.5m	15m	岡山県津山市一宮	市指定
B	下野八幡宮のケヤキ 写真 K-105	8.5m	40m	宮崎県西杵臼郡高千穂町下野	国指定
B	御岳の神代ケヤキ 写真 K-106	8.5m	30m	東京都青梅市御岳山門山 御岳神社	国指定
B	密弘寺のケヤキ 写真 K-107	M8.32m(1.3m 2015)	17m	茨城県桜川市真壁町真壁	市指定
B	山王森大榲 写真 K-108	株 M8.8m(1.3m 2015)	20m	新潟県糸魚川市水保字北山	市指定
B	嘉右衛門山の逆さケヤキ 写真 K-109	8.4m	22m	宮城県白石市大平中目字嘉右衛門山	県指定
B	今岡のケヤキ 写真 K-110	8.3m	20m	長野県佐久市伴野今岡	なし
B	九石のけやき 写真 K-111	8.3m	21m	栃木県芳賀郡茂木町九石	県指定
B	犬塚のケヤキ 写真 K-112	8.28m	20m	滋賀県大津市逢坂2丁目	市指定
B	小夫天神の大ケヤキ 写真 K-113	8.2m	30m	奈良県桜井市小夫	なし
B	海老名の大ケヤキ 写真 K-114	8.18m	12m	神奈川県海老名市国分南1丁目	県指定
伐採	丸山の大ケヤキ 写真 K-115	M7.2m(1.3m 1982)	20m	石川県小松市丸山町	市指定



◀写真 K-074

すがなみ
菅並のケヤキ
(火の宮のケヤキ)

火の神として祀られる巨木で、
5mで5分岐する樹形。

写真 K-075▶

はちまん
八幡神社のケヤキ
(野神のケヤキ)

地元では野神として崇拝される
ケヤキで、3mで2分岐するが、分
岐幹が5分岐するように見える。





▲写真 K-076
ゆぶく
湯福神社のケヤキ(B株)

境内にある3本の大ケヤキ中、最大株。



▲写真 K-079
すぐろ おおけやき
村主の大櫨
(写真・原一興)



▲写真 K-077
しもとくさり
下戸鎖のケヤキ(山根のケヤキ)
巨木DBでは6.3mとされる。8.75mは現地記載で、M式に近いと思われる。
(写真・Web画像)



▲写真 K-078
さきのみや
先ノ宮神社のケヤキ

本殿の前に立ち、主幹は本殿と接し、6mで2分岐、一本が破損する。



▲写真 K-080
いなだすわ
稲田諏訪神社の大ケヤキ
6mで3分岐、大枝が2012年に落下したが、樹勢は良い。

◀写真 K-082
ぶんぶんかんと
分武館跡のケヤキ
大子小学校グランド端にある3本の大ケヤキの内最大株。

写真 K-083▶
なかむらしんめいぐおおけやき
中村神明宮大櫨
本殿の裏、狭い立地に立ち、根元が大きく広がる樹形。

写真 K-081▶
はぐろ
羽黒神社のケヤキ
拝殿の横に立ち、内部空洞化する。(写真・石田徹)





▲写真 K-084
しんめいぐう
神明宮の大ケヤキ

境内中央に玉垣に囲まれて立つ。境内の端、道路との境に立ち、上部で大きく2分岐。



▲写真 K-085
いいかわ
飯川神社のケヤキ

境内の端、道路との境に立ち、上部で大きく2分岐。



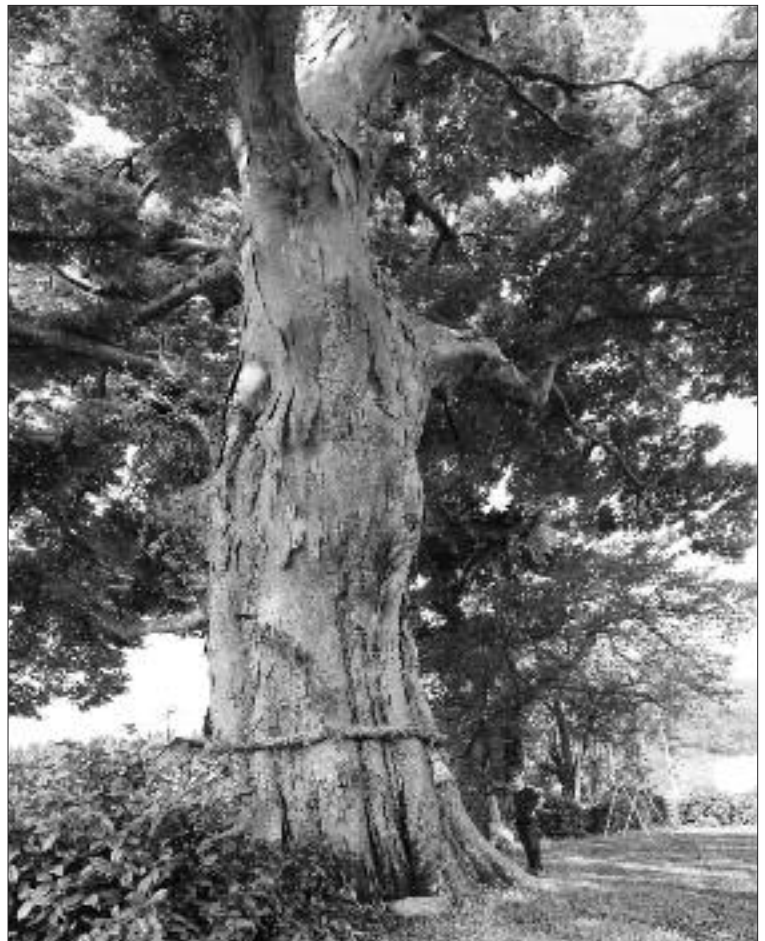
▲写真 K-086
あめおうじ
天皇子神社のケヤキ

5m で多数に分岐、何本か破損する。



◀写真 K-087
ふつぱり だいつきぎ
吹張の大槻木

根上り樹形のケヤキであるが、その規模がみごとである。(写真・Web 画像)



▲写真 K-088
しんりょうじよ
診療所のケヤキ

見事な単幹ケヤキで、枝張りが25m 四方にも及ぶ。幹周は8m ないが、ほとんど同じ太さで伸びる単幹樹で、幹周以上の迫力がある。A 評価予備軍の一本である。



◀写真 K-089
もみやま
糺山八幡宮の大ケヤキ

根元に巨大なコブがあり、測定位置では幹周が巨大化するので、コブの上で幹周を測定した。



▲写真 K-090
いちのみや
一宮神社のケヤキ

本殿の右手に立ち、5mで3分岐し、大きく枝葉を広げる。



▲写真 K-093
しもつま
下妻神社の大ケヤキ

7mで4分岐する。
(写真・Web画像)

◀写真 K-091
ちゅうこんじ
中根寺のケヤキ

主幹はコブが多く、5mで2分岐、上部10mで3本の幹が切断されている。存在感のあるケヤキ。

写真 K-094▶
しらとり
白鳥神社のケヤキ(縄文ケヤキ)

コブが多い。(写真・赤司裕宣)



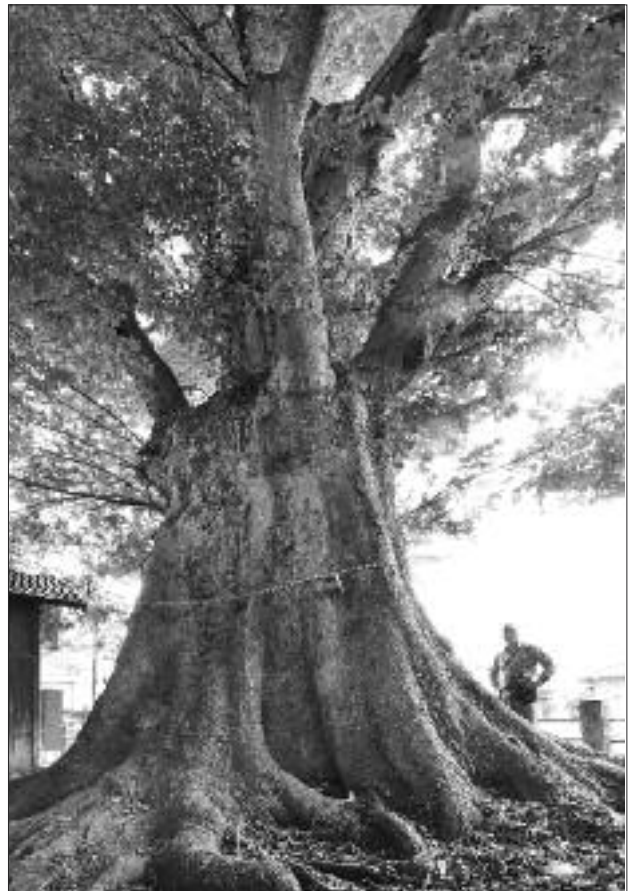
▼写真 K-092
みさやまごうど いちりづか
御射山神戸の一里塚のケヤキ

旧道沿いの一里塚に立つ大ケヤキ。根元が広がる樹形。



▼写真 K-095
すが
須賀神社の大ケヤキ

本殿の裏、道路との狭い空間に立つ。8mで2分岐、樹勢は良い。





▲写真 K-096
だいぶつけいだい
中地大仏境内のケヤキ

「大仏のケヤキ」がある同じ境内の裏手に立つ。



▲写真 K-099
はまざわ
浜沢の大ケヤキ

1mで側幹が斜上し、主幹は4mで2分岐する。



◀写真 K-102
かみとくじら
上徳次郎のケヤキ

旧家の屋敷内にあり、一部根上り樹形。読み方は旧宿場名。
(写真・赤司裕宣)



▲写真 K-097
かしまみこ
鹿島御子神社の大ケヤキ

拝殿の横に立つ単幹ケヤキ。
(写真・Web画像)



▲写真 K-098
うえのはら
上野原の大ケヤキ

上野原小学校グラウンド端に立つ。
(写真・梶本興亜)



▲写真 K-100
えんのうじ
延心寺のケヤキ

境内中央に主幹が傾いて立つ。幹周は幹の中心線に直角に測定した。根元に亀裂があり、倒木の可能性がある。



▲写真 K-101
いまだすいじん
今田水神の大ケヤキ

川岸の岩盤の上に立ち、全体で6分岐する。(写真・石田徹)



写真 K-103▶
せいがんじ
清河寺の大ケヤキ

清河寺より南東に150mに立つ個人所有。地名も寺と同名。
(写真・Web画像)



▲写真 K-104
なかやま いぼぎ
中山神社の祝木のケヤキ

5mで主幹は切断され、玉垣で囲まれている。



▲写真 K-107
みつこうじ
密弘寺のケヤキ

境内参道に立つ。



◀写真 K-110
いまおか
今岡のケヤキ

個人宅の屋敷内、土塀近くの狭い庭隅に立つ。

▲写真 K-105

しもの
下野八幡宮のケヤキ

社殿右手に立ち、5mで2分岐する。(写真・Web画像)



▲写真 K-108

さんのうもりおおけやき
三王森大櫨

水田の端、土盛りの上に立つ。

写真 K-111▶

さざらし
九石のけやき

峠の上に立つ大ケヤキ。
(写真・梶本興亜)



▲写真 K-106

みたけ じんだい
御岳の神代ケヤキ

御岳神社参道途中の際に立つ。
(写真・Web画像)



▲写真 K-109

かえもんやま さか
嘉右衛門山の逆さケヤキ

根元近くで5分岐。枝張りは東西44m、南北40mに及ぶ。
(写真・Web画像)





▲写真 K-112

いぬづか
犬塚の大ケヤキ
街中に立つ大ケヤキ。
(写真・谷田元彦)



▲写真 K-113

おおぶてんじん
小夫天神の大ケヤキ
石垣に生え、斜上する。(写真・Web 画像)



▲写真 K-114

えびな
海老名の大ケヤキ
主幹は途中で切断され、内部空洞化している。(写真・Web 画像)



◀写真 K-115

伐採
まるやま
丸山の大ケヤキ
見事な単幹ケヤキであったが、
1960年頃に伐採された。
撮影・1953年

■幹周 7~9m で C 評価・倒木・伐採・枯死のケヤキの巨木 2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	沓掛の大ケヤキ(主幹破損)	8.9m	23m	茨城県坂東市沓掛	県指定
C	雀神社の大欅(並立、1本枯死)	8.8m	20m	茨城県古河市宮前町	市指定
C	八柱神社のケヤキ	8.8m	20m	茨城県桜川市真綱町塙	町指定
C	山宮の大ケヤキ	8.8m	17m	山梨県中央市大鳥居山宮	市指定
C	能代公園のケヤキ	8.7m	25m	秋田県能代市清助町	なし
C	藍園墓地の大ケヤキ	8.7m	9m	群馬県渋川市上郷	県指定